

WHO AM I?

自己

自己意識
アイデンティティ

対人不安
シャイネス

摂食障害

社会的
ひきこもり

無気力
アパシー

TRUE TWONESS

他者

友人関係
恋愛・結婚

WHAT'S MY VOCATION?

社会

職業を通じた
社会参入

子どもでもない、 大人でもない、 青年のための心理学

青年期は児童期と成人期の橋渡しの時期であり、今後の人生に向けての準備と猶予の期間とされている。また、青年期は自己の内面へと意識が向かうとともに、しばしば心身の不安定を覚える時期でもある。青年期の心理について体系的な知識を得ることは、受講生自身の自己理解を深め、また青年期に特有の心理的な諸問題を考察する際に役立つと思われる。

この講義では、青年心理学の知識を中心として、青年期の意義や青年期の行動・心理特性、青年を取り巻く社会環境等について学ぶ。また、青年期に生じやすい心身の不適応に関する基礎的な知識についても学ぶ。

成績評価

毎回の講義の後に配布されるリアクションペーパーの記述内容(60%)と期末試験(40%)の成績を合わせて総合的に行う。次のような場合は不可となる。1) 3回連続で欠席した場合；2) 通算で5回以上の欠席；3) 総合点が60点に満たないもの

旭川医科大学 後期提供科目

青少年文化論

担当教員 teacher in charge



池上 将永

旭川医科大学
医学部 助教

到達目標

一般目標：

- ・青年期の心理・行動特性に関する基本的な知識を身につけ、青年期への理解を深める。

行動目標：

- ・人生における青年期の位置づけや意義について説明できる。
- ・青年期の心理と行動の特徴について説明できる。
- ・青年期の不適応行動について心理学の視点から説明できる。

授業のトピックス

授業計画

- ・ 青年期とは 青年期と自己意識 青年期の不適応 青年期の自己確立 青年期と友人関係 青年期と恋愛 青年期とキャリア発達 青年期と労働観 青年期から成人期